

肝硬変患者の上部消化管出血における簡易死亡率予測モデルの外部検証

◆研究の目的と概要◆

当院では、肝硬変患者の上部消化管出血について、来院時の血液検査所見を用いた死亡率予測モデルの有用性を調べています。本研究では、簡便かつ正確な死亡率予測法の確立を目指しており、予測される死亡率に応じて治療を適正化するなど、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010 年 1 月から、2019 年 12 月までの間に、肝硬変を背景とした上部消化管出血であると診断され、当院に緊急入院された 20 歳以上の方。ただし、入院後 24 時間以内に上部消化管内視鏡検査を行っていない方は研究の対象外とします。

◆研究に使用される情報◆

- ・研究対象者の背景：性別、入院時年齢、背景肝疾患、肝機能（Child-Pugh スコア）、併存疾患、来院時の収縮期血圧・拡張期血圧・脈拍・意識レベル
- ・入院時の血液検査所見：CRP、アルブミン、総ビリルビン、クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、ヘモグロビン、白血球数、血小板数、プロトロンビン時間
- ・入院時の内視鏡検査所見：出血源、活動性出血の有無、内視鏡的止血術の有無と方法・止血が得られたかどうか
- ・入院中の治療法：集中治療室への入室の有無と入室期間、予防的抗菌薬の有無、輸血の有無と単位数
- ・転帰：退院日、入院後 6 週間以内の死亡の有無、入院中の細菌感染症・再出血の有無

◆情報の研究利用開始日◆

2025 年 3 月 1 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 上野 真行

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存情報を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明